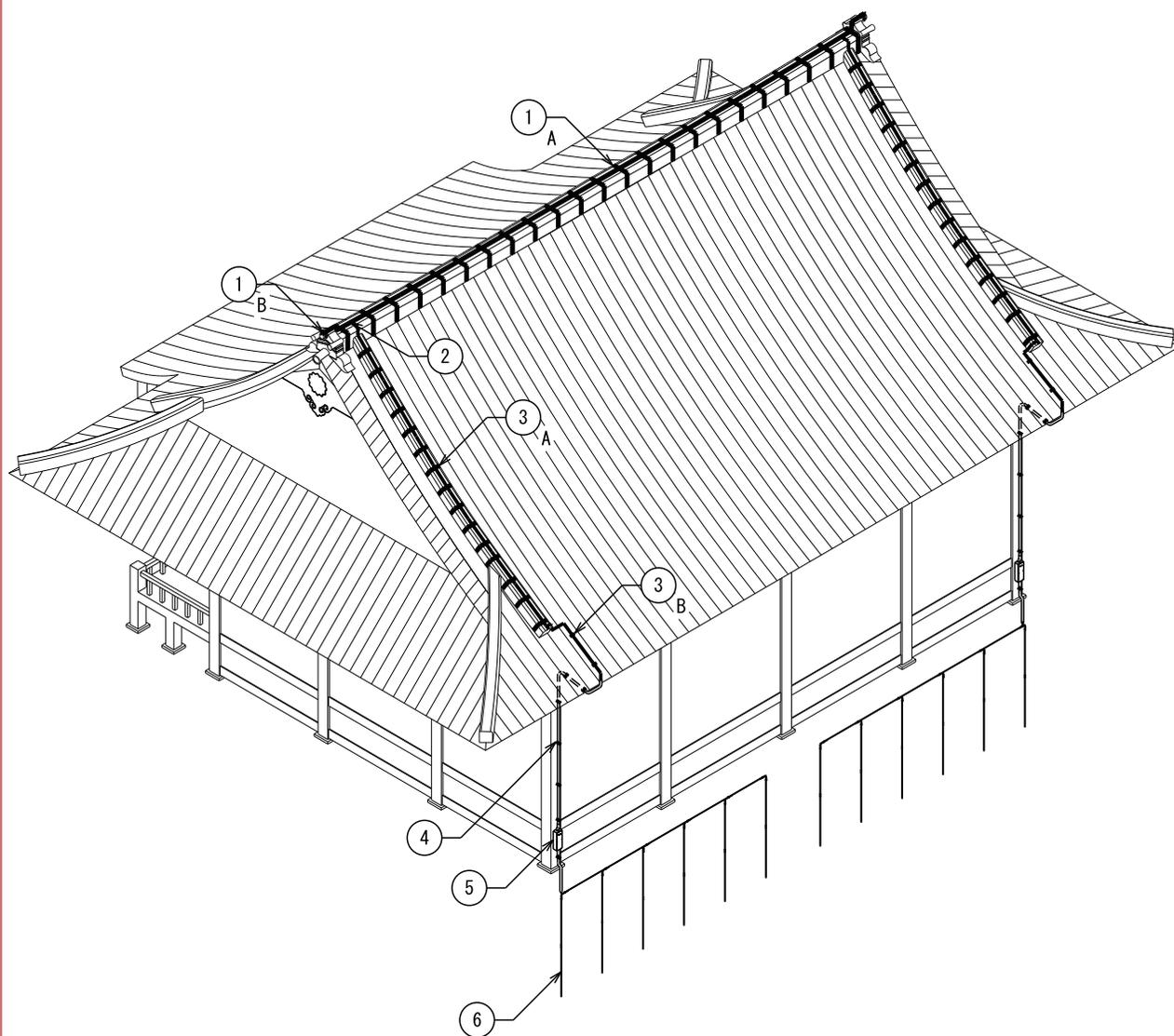


※ JIS A 4201:1992 の規定に基づく

避雷設備凡例

| 番号 | 名 称 |
|----|------------------------------------|
| 1 | 銅帯 3t×25 銅帯取付金物 A-棟瓦用 B-鬼瓦用 |
| 2 | 分岐端子 |
| 3 | 銅線 2.0×13 銅線取付金物 A-棟瓦用 B-棧瓦用 |
| 4 | 保護管 (VE28) 保護管取付金物 木造用 |
| 5 | 接地端子ボックス 露出用 2端子 標示板付 |
| 6 | 連結式アース棒 14φ×1500(接地極) |



01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物

支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

雑材料

06

附属資料

07

施工参考例

01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物

支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

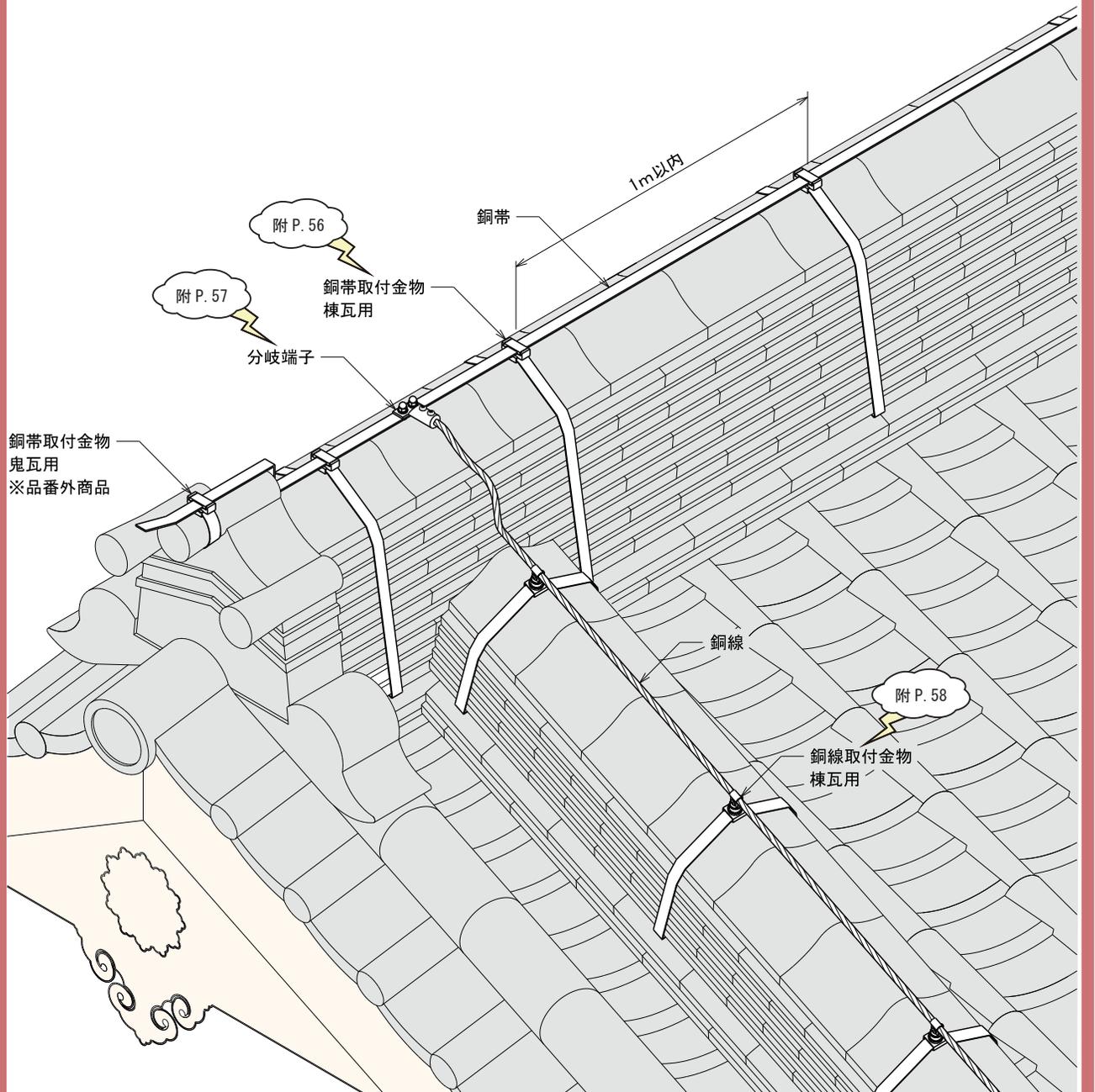
雑材料

06

附属資料

07

施工参考例



01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

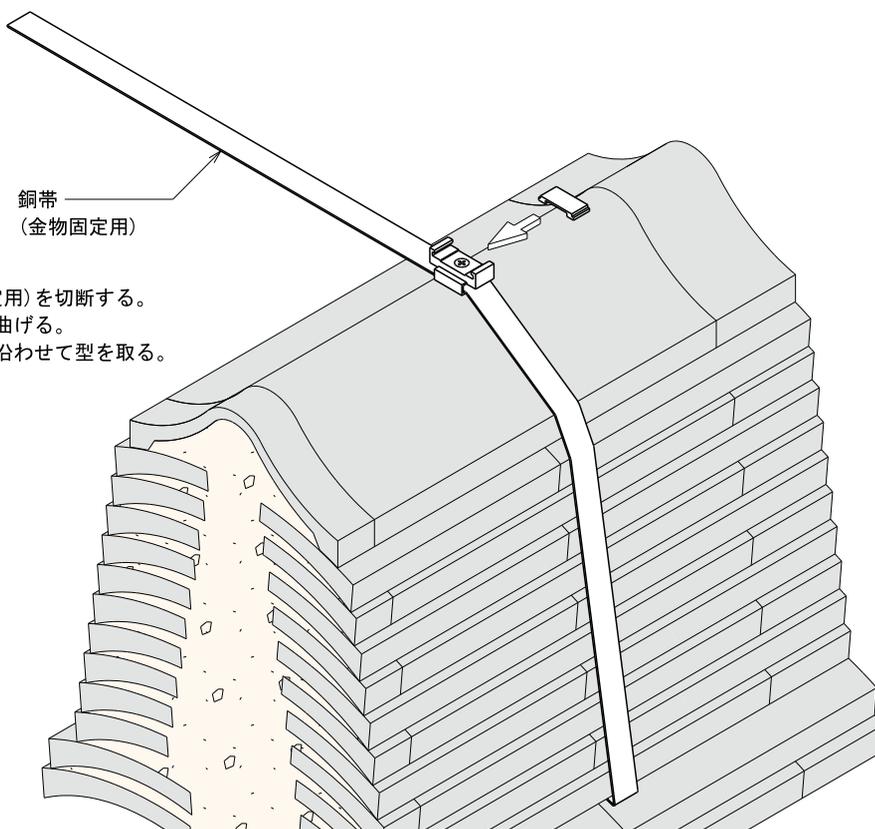
雑材料

06

附属資料

07

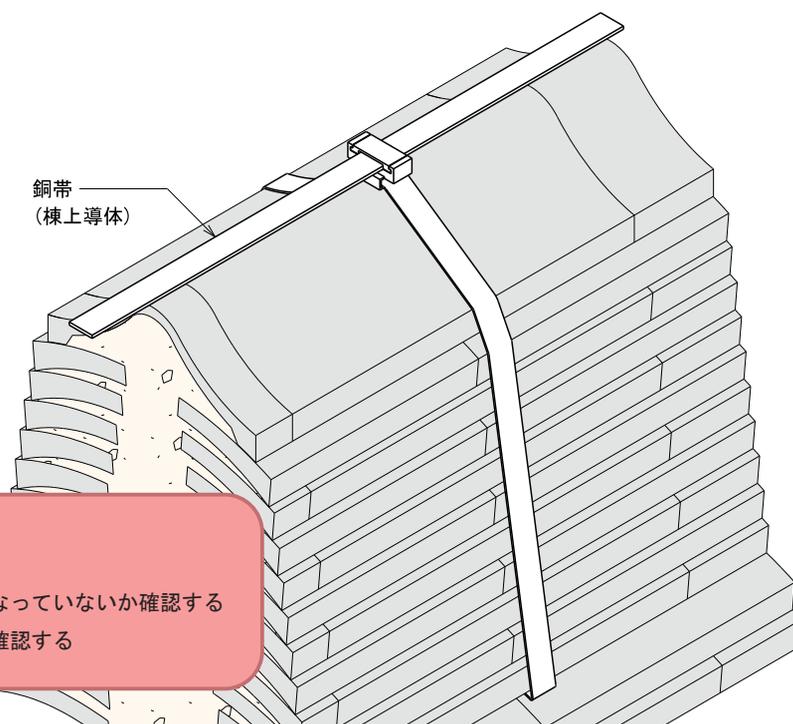
施工参考例



- (1) 棟瓦の寸法を測り、銅帯(金物固定用)を切断する。
金物固定用銅帯の先端、約30mmを曲げる。
のし瓦の下部に差し込み、棟瓦に沿わせて型を取る。
反対側も同じ位置に差し込む。

銅帯
(棟上導体)

- (2) 銅帯(棟上導体)を固定する。



ポイント

- ・下から見て金物固定用の銅帯が斜めになっていないか確認する
- ・銅帯(棟上導体)が波打っていないか確認する

01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物

支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

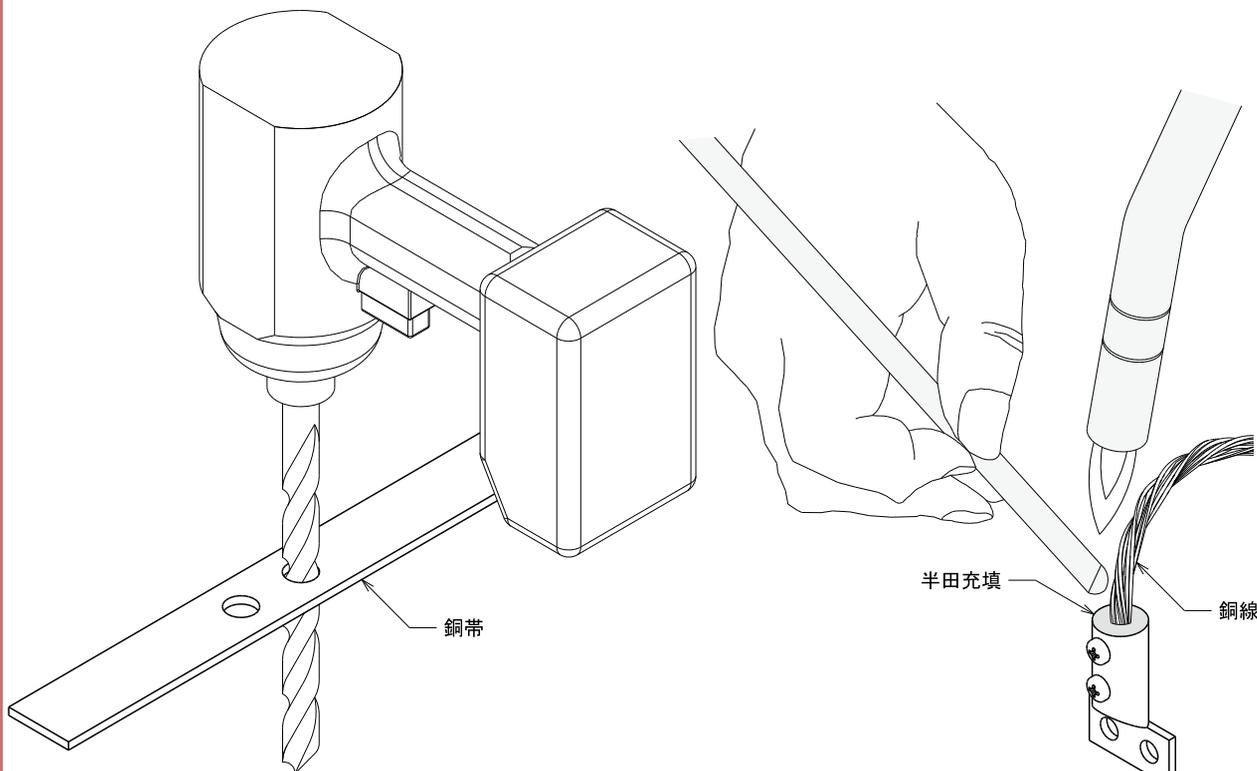
雑材料

06

附属資料

07

施工参考例

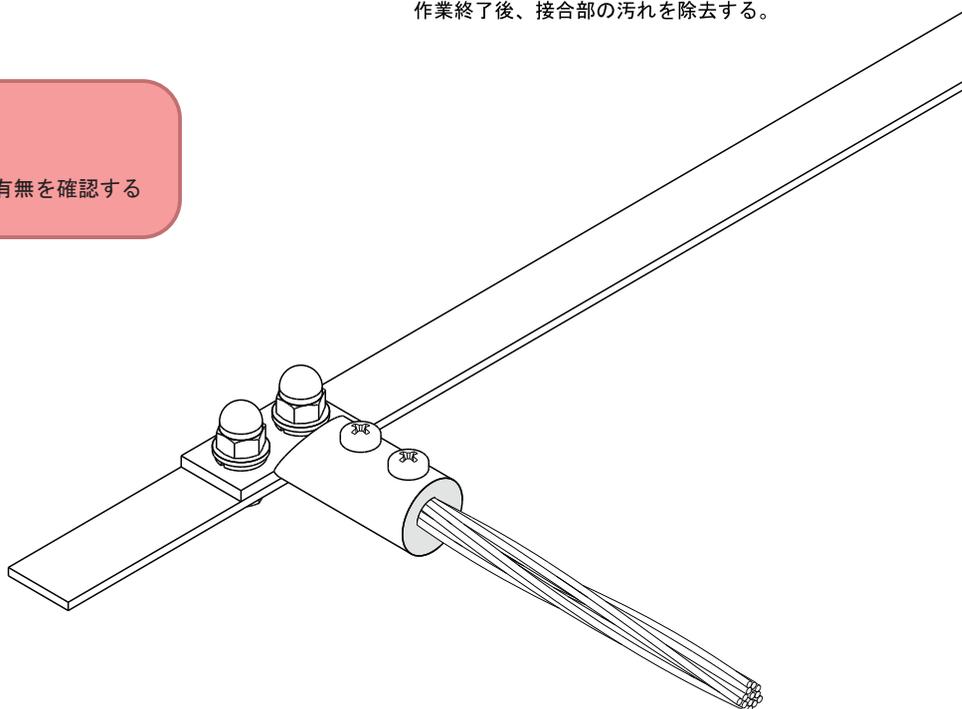


(1) 銅帯に孔を2ヶ所開ける。

(2) 分岐端子に銅線を押しビスで仮固定し、半田ロー付けする。作業終了後、接合部の汚れを除去する。

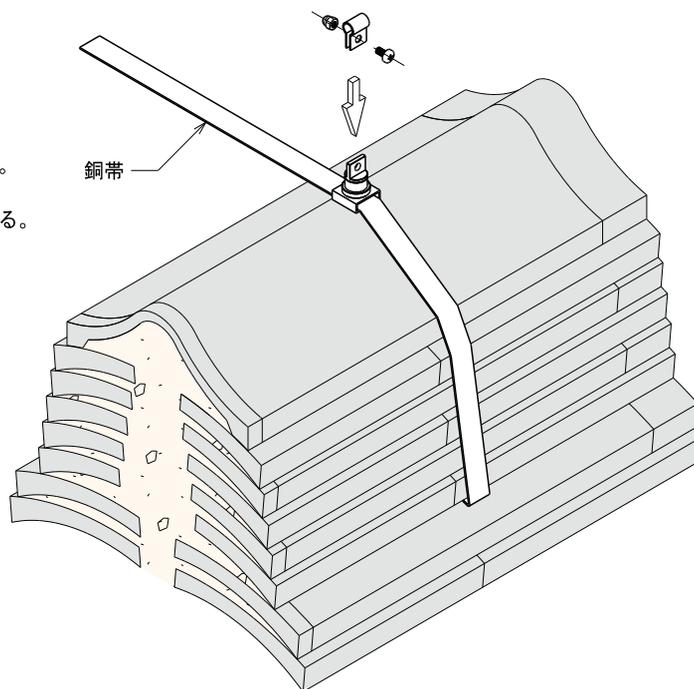
ポイント

- ・端子のボルトの緩みの有無を確認する

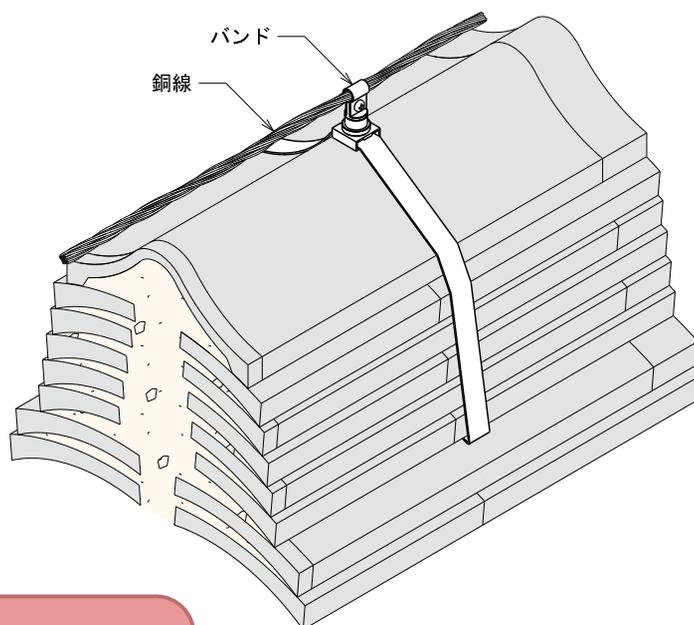


(3) 銅帯に分岐端子をボルトにて固定する。半田付け部の不良がないか確認する。

- (1) 棟瓦の寸法を測り、銅帯(金物固定用)を切断する。
銅帯の先端を曲げる。
のし瓦の下部に差し込み、棟瓦に沿わせて型を取る。
反対側も同じ位置に差し込む。



- (2) 銅線の癖をとりながら、バンドにて固定する。



ポイント

- ・下から見て金物固定用の銅帯が斜めになっていないか確認する
- ・銅線が波打っていないか確認する

01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

雑材料

06

附属資料

07

施工参考例

01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物

支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

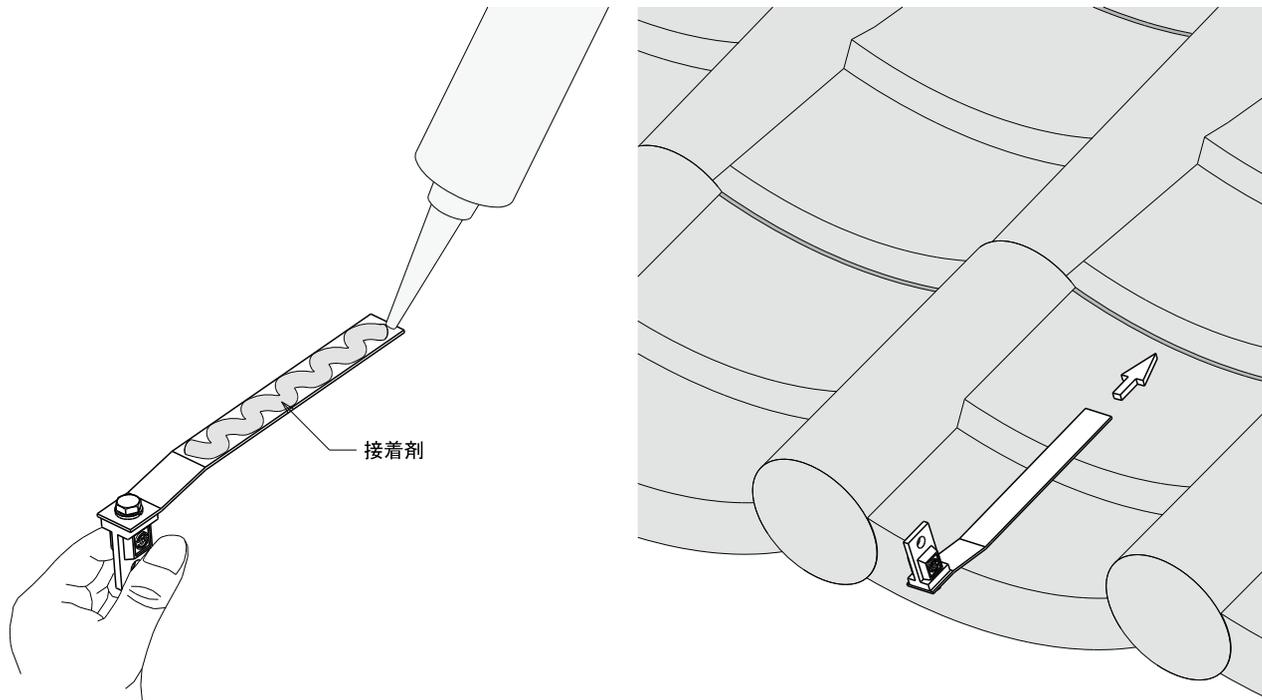
雑材料

06

附属資料

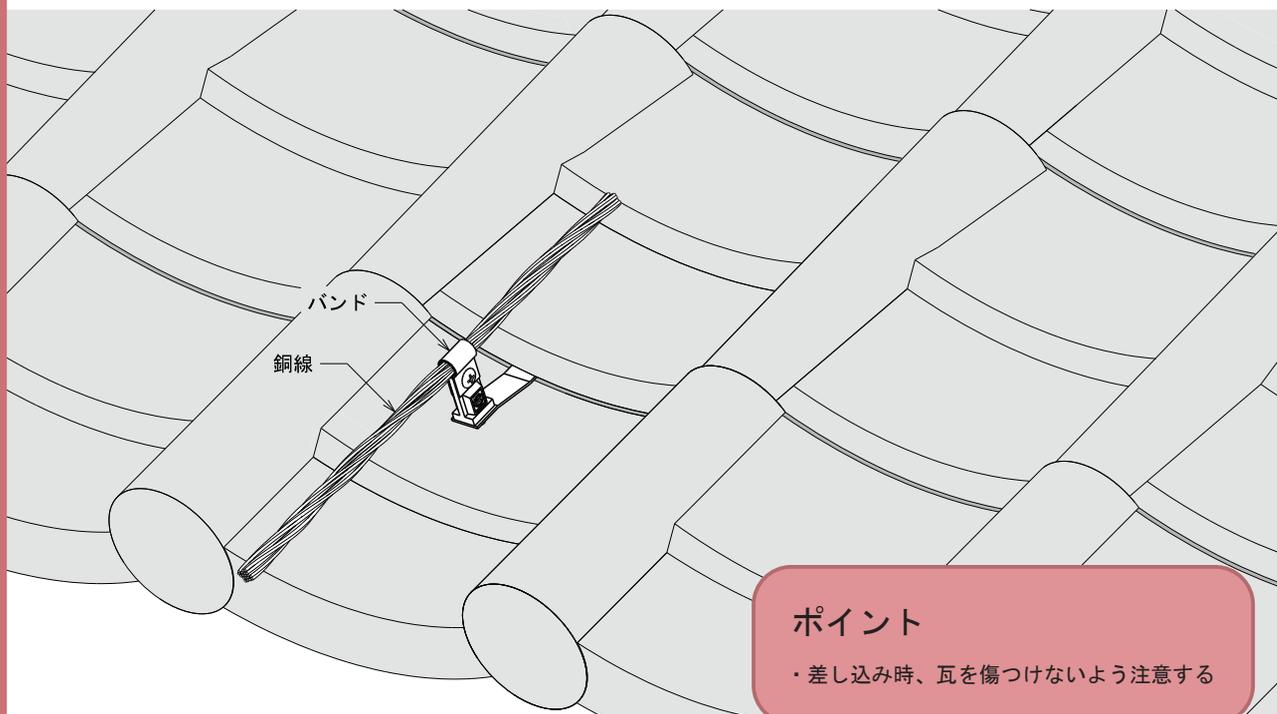
07

施工参考例



(1) 所定の位置に差し込める隙間があるか確認する。
金物の裏面に接着剤を塗布する。

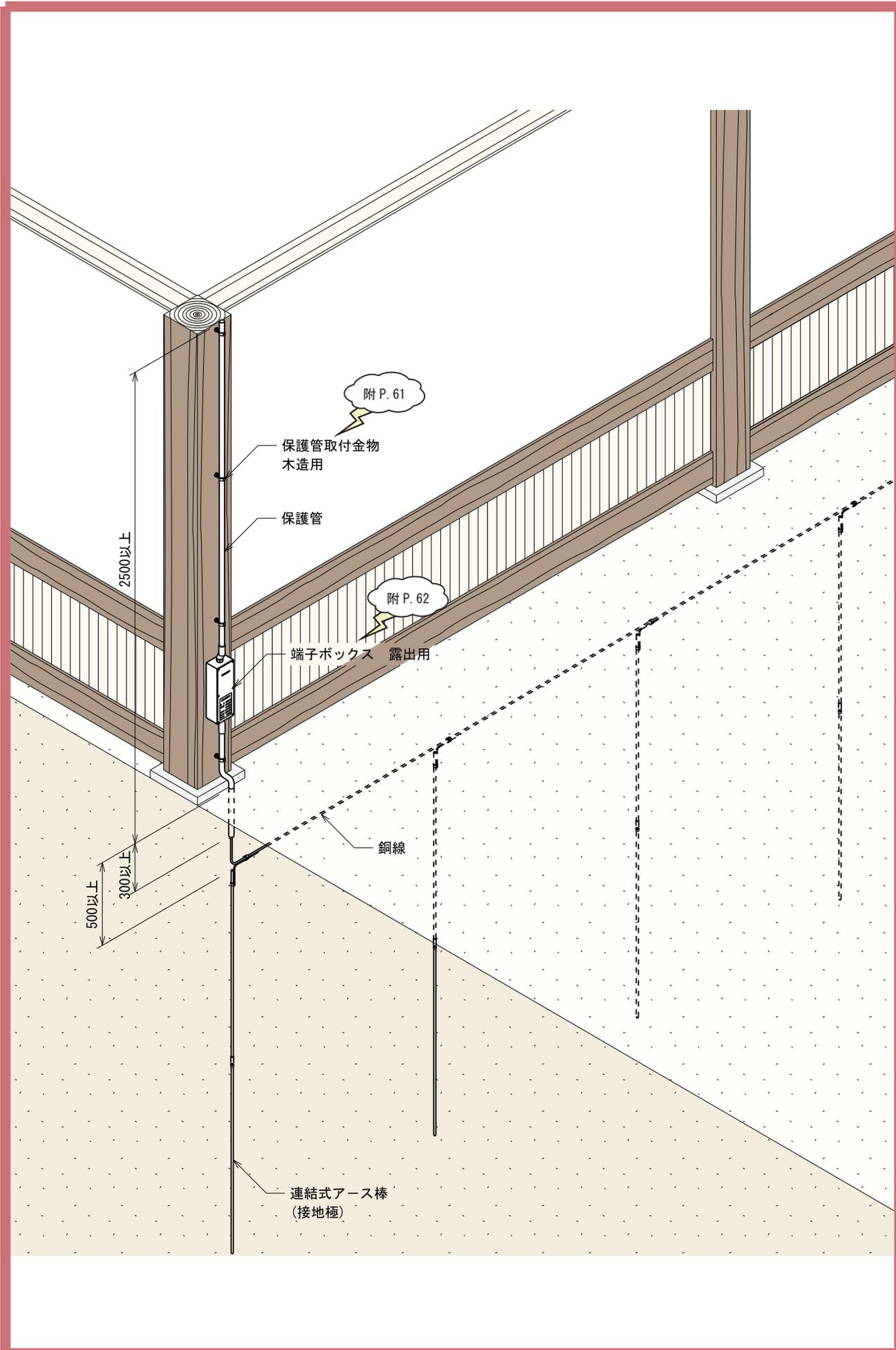
(2) 周囲の瓦に接着剤が付着しないよう注意しながら
差し込む。はみ出した接着剤をきれいに整える。



ポイント

・差し込み時、瓦を傷つけないよう注意する

(3) 銅線の癖をとりながら、バンドにて固定する。



01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物

支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

雑材料

06

附属資料

07

施工参考例

01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物

支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

雑材料

06

附属資料

07

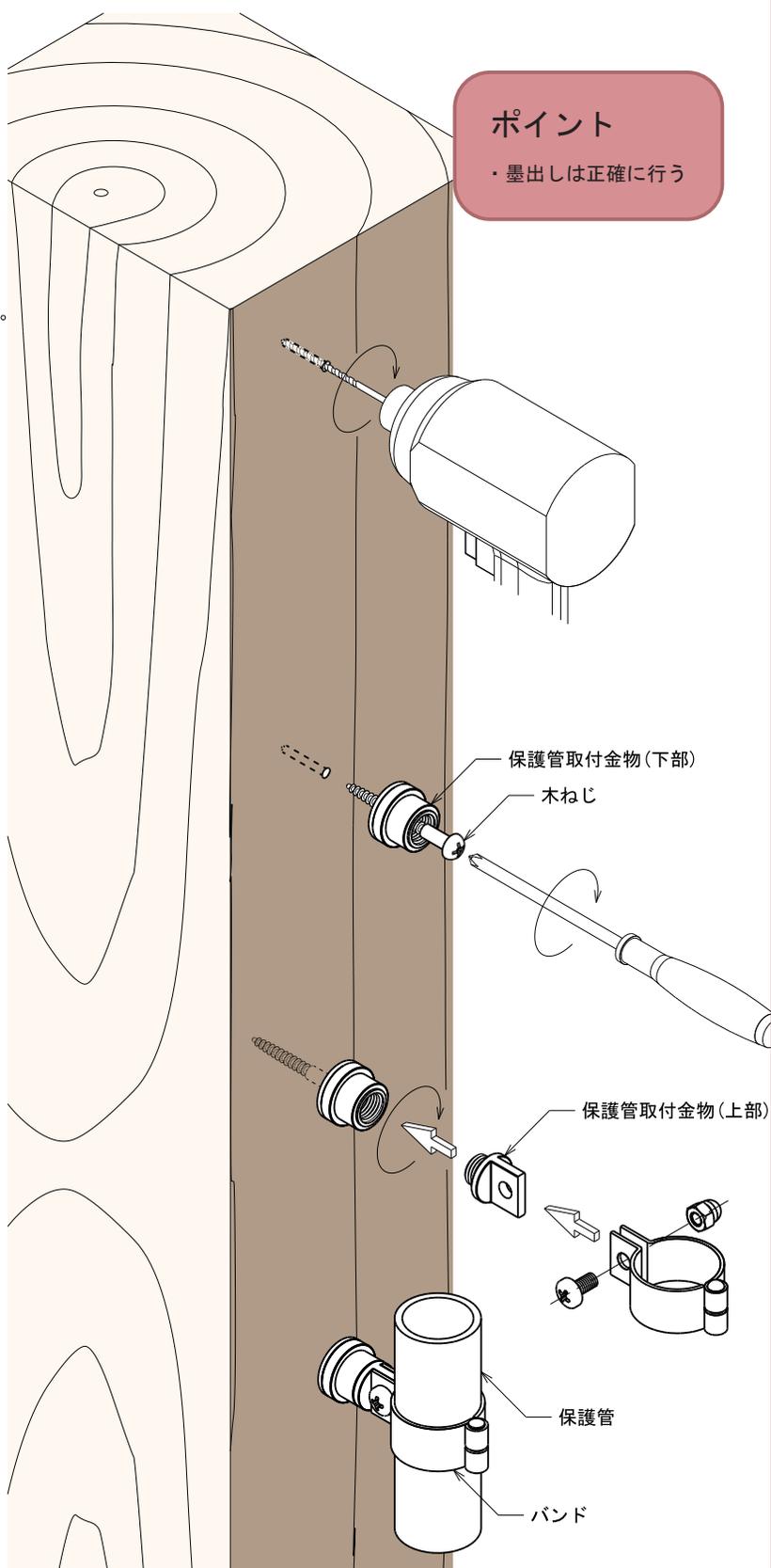
施工参考例

(1) 取り付け間隔は、垂直1~1.5m以内とする。
取り付け位置に、下穴を開ける。

(2) 木ねじにより保護管取付金物(下部)を
取り付ける。

(3) 保護管取付金物(上部)を取り付ける。

(4) 保護管をバンドにて固定する。



ポイント

・墨出しは正確に行う

01

突針

カップリング

支持管

支持管
取付金物

支持管
取付台

支線

02

銅線

銅帯

03

アルミ線

アルミ帯

04

保護管

端子ボックス

05

接地極

標示板

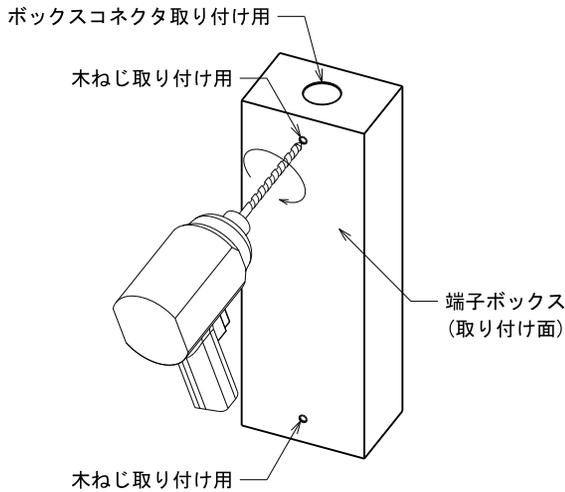
雑材料

06

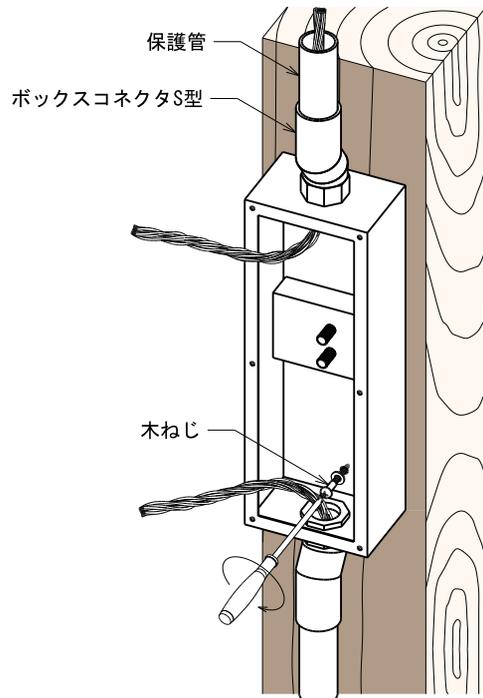
附属資料

07

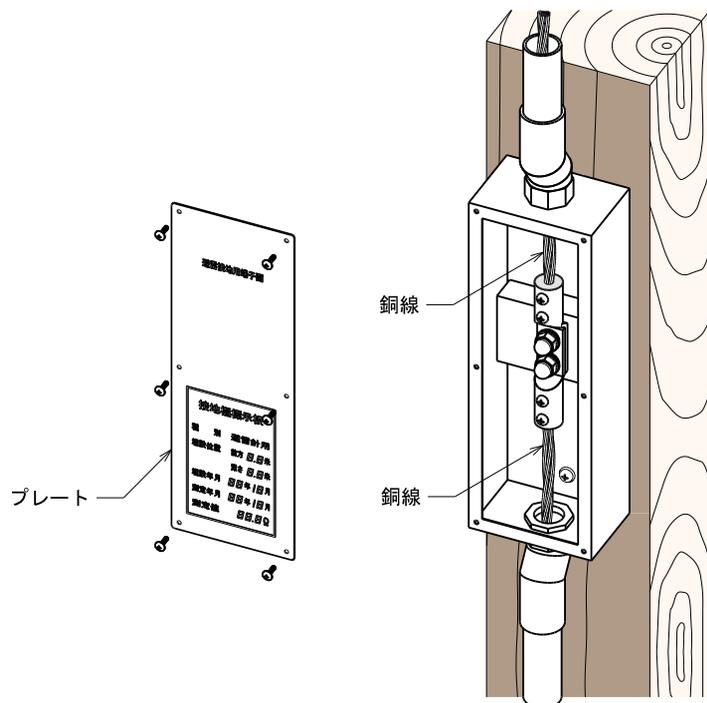
施工参考例



- (1) 端子ボックスの取り付け面に木ねじ用の下穴を2ヶ所開ける。
ボックスの上下にもボックスコネクタ取り付け用の下穴を2ヶ所開ける。



- (2) 端子ボックス取り付け位置に2ヶ所の墨を出し、下穴を開ける。
ボックスに、ボックスコネクタS型を取り付け、保護管・銅線を挿入する。
ボックスを木ねじ2本で取り付ける。



- (3) 端子ボックスの垂直を水平器で確認する。
接続端子に銅線を接続し、端子ボックス内に固定する。